

論 文

食事, 排泄, 清潔場面における看護に対し 患者が示した満足の程度に関する検討

松 村 洋 子

(石川県済生会金沢病院)

Nursing care and patient satisfaction, eating,
elimination, and bed bath

Youko Mastumura

Ishikawa ken Saiseikai Kanazawa Hospital

要 旨

実施した看護に対して, その看護を受けた患者の満足度を検討した。

研究方法は, 食事, 排泄, 清潔場面において援助を受け反応できる患者50名とした。入院中に援助を受けた満足の程度を不満, 一部不満, 満足とし, アンケート調査を行った。

その結果, 対象とした50名からの回収率は100%であり, 満足に対する反応は全員から得られた。満足の割合が高かった場面は清潔場面であり, 次に食事場面, 排泄場面であった。不満が高かった場面は排泄場面, 食事場面の順であり, 清潔場面は0であった。

排泄場面における不満が高く, 心理的情緒的反応が配慮されていないことが明らかになった。

患者の援助してほしいという思いと看護婦の援助が必要とする認識の一致が, 患者の満足度を高めると考えられた。